

授 業 科 目 名	農業科教育法概論(Introduction to Teaching Method for Agriculture)		
科 目 番 号	9460001	授 業 形 態	講義
単 位 数	2 単位	標 準 履 修 年 次	2・3・4 年次
実 施 学 期	春 C, 夏季休業中	曜 時 限	集中
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	建元 喜寿 (世話人:内海 真生 utsumi.motoo.ge@u.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー	事前にメールで連絡すること		
授 業 の 到 達 目 標	学校教育における農林業・環境・食をめぐる教育の意義や役割を理解する。 高等学校で学ぶ生徒の現状を把握し、農業教育における効果的な学習方法の計画・立案、実施、 反省・評価に関するマネジメント能力を身につける。		
授 業 の 概 要	農業教育の発達と歴史的意義をふまえ、高等学校農業科教育の現状と課題、農業科教育の目的・ 教育課程、学習指導の理論と方法などを理解する。		
授 業 計 画	(1) 教科「農業」の目標と科目の構成 (2) 高等学校における農業教育の現状 (3) 高等学校における農業教育の諸問題 (4) 農業を学ぶ高校生の現状 (5) 農業高校における教科「農業」の授業実践例 (6) 総合学科高校における教科「農業」の授業実践例 (7) 受講者のグループワークによる農業教育に関する討論学習指導計画の作成方法 (8) 教育実習における授業の計画 (9) 教育実習における授業の実施 (10) 学習指導計画の作成方法 (11) 学習指導案の作成方法 (12) 教材研究と教育方法(情報機器及び教材の活用を含む) (13) 学習評価の方法と基準 (14) 準学校における ESD の取り組みと教材研究 (15) 学校における国際教育の取り組みと教材研究 (16) 学校における SDGs の取り組みと教材研究 (17) 現職教員特別参加制度による青年海外協力隊派遣に関する紹介(インドネシアを事例に) (18) グローバル人材育成における農業の可能性受講者による模擬授業の計画 (19) 受講者による模擬授業の実践・実践 (20) 受講者による模擬授業のふり返し 定期試験は実施しない。		
成 績 評 価 方 法	課題提出、意見発表、授業への取組みを総合的に評価する。		
テ キ ス ト	特に定めない。担当者がテキスト・資料は準備する。		
参 考 文 献	文部科学省「高等学校学習指導要領解説 農業編」(最新版) その他、講義や演習のなかで、そのつど紹介する。		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む 事 項			
備 考			

授 業 科 目 名	農業科指導法(Guidance for Agriculture)		
科 目 番 号	9461001	授 業 形 態	講義
単 位 数	2 単位	標 準 履 修 年 次	2・3・4 年次
実 施 学 期	夏季休業中	曜 時 限	集中
対 象 学 群 ・ 学 類			
担 当 教 員 (連 絡 先)	石井 克佳 (世話人:内海 真生 utsumi.motoo.ge@u.tsukuba.ac.jp)		
オ フ ィ ス ア ワ ー	事前にメールで連絡すること		
授 業 の 到 達 目 標	高等学校教育の農林業・環境・食をめぐる指導法について、その手法・対象・主体など多様な観点からの解説をもとに、教育現場での農業科指導法の実際を学ぶ。		
授 業 の 概 要	下記授業計画に基づき実施する。 教員による解説の後、学生が問題演習、課題解決に向けて、個人またはグループで実習を行う。 解説書・教科書・資料等から、教育実習開始前に知っておくべきことを中心に題材を選定する。		
授 業 計 画	(1) 農業科指導法の意義 (2) 農林業における今日的課題 (3) 環境分野における今日的課題 (4) 学習指導要領が目指すもの (5) 高等学校農業教育が目指すもの (6) 教科書における基礎・基本の理解 (7) 教科書における基礎・基本の実践 (8) 食料生産における教材研究と今日的課題(情報機器及び教材の活用を含む) (9) 農林水産業における教材研究と今日的課題(情報機器及び教材の活用を含む) (10) 環境における教材研究と今日的課題(情報機器及び教材の活用を含む) (11) 農業教育と資格取得 (12) 農業教育に必要な知識 (13) 農業教育に必要な理解 (14) 農業教育に必要な意欲 (15) 農業教育に必要な関心 (16) 農業教育に必要な態度 (17) 高等学校農業科での食料教育に関する学習指導案作成と模擬授業 (18) 高等学校農業科での農林業教育に関する学習指導案作成と模擬授業 (19) 高等学校農業科での環境教育に関する学習指導案作成と模擬授業 (20) 附属坂戸高等学校での食料・農業・環境教育の実践 定期試験は実施しない		
成 績 評 価 方 法	課題提出、意見発表、授業への取組みを、総合的に評価する。		
テ キ ス ト	使用しない。適宜授業中に資料を配付する。		
参 考 文 献	高等学校学習指導要領解説 農業編 (文部科学省 最新版) 農業と環境(塩谷哲夫ほか 実教出版) 環境科学基礎(竹内和彦ほか 実教出版)		
授 業 外 に お け る 学 習 方 法			
受 講 学 生 に 望 む 事 項			
備 考			